

平成24年5月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年1月13日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社IGポート

コード番号 3791 URL <http://www.igport.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 石川光久

問合せ先責任者 (役職名) 管理担当執行役員

(氏名) 中野広之

TEL 0422-53-0257

四半期報告書提出予定日 平成24年1月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年5月期第2四半期の連結業績(平成23年6月1日～平成23年11月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年5月期第2四半期	2,347	21.2	40	—	38	—	6	△81.6
23年5月期第2四半期	1,937	△46.2	△41	—	△29	—	36	—

(注) 包括利益 24年5月期第2四半期 6百万円 (△81.4%) 23年5月期第2四半期 36百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年5月期第2四半期	139.91	—
23年5月期第2四半期	758.96	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年5月期第2四半期	5,924	68.5	4,059	66.6		
23年5月期	6,169	66.6	4,106	66.6		

(参考) 自己資本 24年5月期第2四半期 4,059百万円 23年5月期 4,106百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年5月期	—	0.00	—	0.00	0.00
24年5月期	—	0.00	—	—	—
24年5月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年5月期の連結業績予想(平成23年6月1日～平成24年5月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,226	17.9	92	△26.1	98	△34.7	85	△74.0	1,780.18

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

24年5月期2Q	48,952 株	23年5月期	48,952 株
----------	----------	--------	----------

② 期末自己株式数

24年5月期2Q	1,204 株	23年5月期	1,204 株
----------	---------	--------	---------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年5月期2Q	47,748 株	23年5月期2Q	47,748 株
----------	----------	----------	----------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ではありますが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(その他)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(4) 追加情報	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) セグメント情報等	10
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災後、サプライチェーンの復旧に伴い生産活動については回復基調に推移しましたが、タイでの洪水の影響も出ており、また、欧州での金融・財政問題の広がりにより欧州各国の国債価格の下落、新興国経済の成長ペースの鈍化、長期化する円高等、景気の先行きは不透明感が高まっております。

このような事業環境のもと、当社グループはアニメーション作品の企画・制作を行う映像制作事業、コミック雑誌等の企画、製造、販売及び電子コミックスで課金を行う出版事業、作品の二次利用による印税・収益分配金等を得る著作権事業に取り組んでまいりました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は2,347,894千円(前年同期比21.2%増)、経常利益は38,738千円(前年同期は29,706千円の経常損失)、四半期純利益は6,680千円(前年同期比81.6%減)となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

① 映像制作事業

映像制作事業におきましては、劇場用アニメーション「劇場版テニスの王子様 英国式庭球城決戦!」「劇場版ポケットモンスター ベストウイッシュ」、テレビ用アニメーション「BLOOD-C」「うさぎドロップ」「ギルティクラウン」「はなかつぱ」等、その他ゲーム用・CM用のアニメーションを制作いたしました。

以上により、当事業の売上高は1,439,323千円(前年同期比41.5%増)、セグメント利益は72,142千円(前年同期は117,544千円の営業損失)となりました。

② 出版事業

出版事業におきましては、新刊は、月刊誌「コミックブレイド」「コミックアヴァルス」、コミックス「flat」「とらねこフォークロア」「モノクロームファクター」等、定期月刊誌12点並びに新刊コミックス68点を刊行しました。また、既刊の「flat」「にがくてあまい」は、特に販売好調でありました。なお、ウェブ雑誌であるEDEN及びケータイサイトで連載された作品のコミックスの刊行は11点となり、ケータイ配信を含む有料課金での電子配信を16作品追加しおり、合計151作品となっています。

以上により、当事業の売上高は618,767千円(前年同期比9.7%増)、セグメント損失は178千円(前年同期は20,917千円の営業損失)となりました。

③ 著作権事業

著作権事業におきましては、「もしドラ～もし高校野球の女子マネージャーがドラッカーの「マネジメント」を読んだら～」 「攻殻機動隊S.A.C. シリーズ」 「ブレイク ブレイド」 「To LOVEる シリーズ」 「戦国BASARA シリーズ」 「蒼穹のファフナー シリーズ」 等の二次利用による収益分配を計上しました。

以上により、当事業の売上高は229,829千円(前年同期比26.2%減)、セグメント利益は13,084千円(前年同期比91.2%減)となりました。

④ その他事業

その他事業につきましては、雑誌のイラストやキャラクターの商品化、人気コンテンツである攻殻機動隊のSNS(ソーシャル・ネットワークキング・サービス) ゲームや iPhone/iPod Touch 向けアプリ等により、当事業の売上高は59,973千円(前年同期比33.0%増)、セグメント損失は2,233千円(前年同期は5,256千円の営業損失)となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

① 財政状態の分析

当第2四半期連結会計期間末の資産につきましては、前連結会計年度末に比べ245,082千円減少し5,924,311千円となりました。主な要因は仕掛金が377,303千円、映像マスターが56,966千円増加し、一方、受取手形及び売掛金が367,030千円、現金及び預金が302,096千円減少したことによるものであります。

負債につきましては、前連結会計年度末に比べ197,813千円減少して1,865,211千円となりました。主な要因は買掛金が185,533千円減少したことによるものであります。

純資産につきましては、四半期純利益の計上及び子会社の決算期変更による利益剰余金の調整等により、前連結会計年度末に比べ47,269千円減少して4,059,099千円となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、前連結会計年度末と比べ302,096千円減少し、1,400,174千円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動による資金の増加は、119,365千円(前年同期は457,659千円の増加)となりました。これは主に売上債権の減少が219,175千円、減価償却費が200,498千円となり、一方、たな卸資産の増加が342,362千円等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動による資金の減少は、351,190千円(前年同期は267,562千円の減少)となりました。これは主に映像マスター等の有形固定資産の取得による支出が272,281千円等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動による資金の減少は、21,520千円(前年同期は171,487千円の減少)となりました。これは主に長期借入金の返済による支出が19,998千円等によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年5月期の業績予想につきましては、売上高6,226百万円、営業利益92百万円、経常利益98百万円、当期純利益85百万円を予想しております。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(連結子会社の事業年度に関する事項の変更)

第1四半期連結会計期間より、連結子会社のうち決算日が3月31日であった㈱ジーベック及び㈱マッグガーデンは、決算日を5月31日に変更しております。決算日変更に伴う平成23年4月1日から平成23年5月31日までの2ヶ月間の損益は、利益剰余金の増減として調整し、現金及び現金同等物の増減については、四半期連結キャッシュ・フロー計算書の「連結子会社の決算期変更に伴う現金及び現金同等物の増減額」として表示しております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(4) 追加情報

第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日)を適用しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年5月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,712,370	1,410,274
受取手形及び売掛金	1,142,314	775,283
商品及び製品	77,458	90,902
仕掛品	439,951	817,254
貯蔵品	3,812	6,631
前渡金	123,270	127,050
繰延税金資産	21,397	11,126
その他	69,620	37,085
貸倒引当金	△2,696	△1,681
流動資産合計	3,587,498	3,273,927
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	882,728	847,846
土地	838,506	838,506
映像マスター(純額)	240,747	297,714
その他(純額)	67,317	55,260
有形固定資産合計	2,029,300	2,039,328
無形固定資産		
のれん	171,852	158,502
その他	14,666	15,080
無形固定資産合計	186,518	173,583
投資その他の資産		
投資有価証券	126,789	182,849
その他	268,857	284,036
貸倒引当金	△29,571	△29,413
投資その他の資産合計	366,076	437,472
固定資産合計	2,581,895	2,650,384
資産合計	6,169,393	5,924,311

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年5月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年11月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	603,936	418,403
短期借入金	300,000	300,000
1年内返済予定の長期借入金	39,996	39,996
未払金	165,824	124,182
未払法人税等	12,980	22,227
前受金	373,194	431,632
賞与引当金	3,072	—
役員賞与引当金	2,100	—
返品調整引当金	50,100	42,000
受注損失引当金	3,529	13,925
その他	150,260	142,779
流動負債合計	1,704,993	1,535,146
固定負債		
長期借入金	299,176	279,178
退職給付引当金	35,556	34,042
その他	23,299	16,844
固定負債合計	358,031	330,064
負債合計	2,063,025	1,865,211
純資産の部		
株主資本		
資本金	701,400	701,400
資本剰余金	1,842,569	1,842,569
利益剰余金	1,635,550	1,588,221
自己株式	△72,870	△72,870
株主資本合計	4,106,649	4,059,320
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△280	△220
その他の包括利益累計額合計	△280	△220
純資産合計	4,106,368	4,059,099
負債純資産合計	6,169,393	5,924,311

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年6月1日 至平成22年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年6月1日 至平成23年11月30日)
売上高	1,937,962	2,347,894
売上原価	1,639,661	1,969,108
売上総利益	298,301	378,785
返品調整引当金繰入額	—	500
返品調整引当金戻入額	12,500	—
差引売上総利益	310,801	378,285
販売費及び一般管理費	352,009	337,999
営業利益又は営業損失(△)	△41,208	40,286
営業外収益		
受取利息	901	441
受取賃貸料	17,312	17,604
その他	6,579	2,559
営業外収益合計	24,794	20,605
営業外費用		
支払利息	4,214	3,502
為替差損	564	471
賃貸収入原価	8,512	16,893
その他	1	1,284
営業外費用合計	13,292	22,152
経常利益又は経常損失(△)	△29,706	38,738
特別利益		
貸倒引当金戻入額	95,153	—
特別利益合計	95,153	—
特別損失		
固定資産売却損	326	—
固定資産除却損	57	1,372
事務所移転費用引当金繰入額	5,625	—
事務所移転費用	—	3,700
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	8,158	—
その他	425	—
特別損失合計	14,593	5,073
税金等調整前四半期純利益	50,852	33,665
法人税、住民税及び事業税	1,380	22,033
法人税等調整額	13,233	4,951
法人税等合計	14,613	26,985
少数株主損益調整前四半期純利益	36,238	6,680
四半期純利益	36,238	6,680

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年6月1日 至平成22年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年6月1日 至平成23年11月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	36,238	6,680
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	4	59
その他の包括利益合計	4	59
四半期包括利益	36,243	6,740
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	36,243	6,740
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年6月1日 至平成22年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年6月1日 至平成23年11月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	50,852	33,665
減価償却費	127,270	200,498
長期前払費用償却額	1,030	592
のれん償却額	13,349	13,349
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△95,153	△687
返品調整引当金の増減額(△は減少)	△12,500	500
受注損失引当金の増減額(△は減少)	24,090	6,360
賞与引当金の増減額(△は減少)	913	△4,608
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	—	△2,100
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△2,032	△1,059
受取利息及び受取配当金	△907	△451
為替差損益(△は益)	17	14
支払利息	4,214	3,502
固定資産売却損	326	—
固定資産除却損	57	1,372
投資事業組合運用損益(△は益)	△800	△76
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	8,158	—
売上債権の増減額(△は増加)	369,966	219,175
たな卸資産の増減額(△は増加)	△130,935	△342,362
仕入債務の増減額(△は減少)	△82,871	△56,027
未払金の増減額(△は減少)	22,365	5,491
前受金の増減額(△は減少)	245,687	34,580
前渡金の増減額(△は増加)	△29,941	△3,780
未収消費税等の増減額(△は増加)	4,011	△10,361
未払消費税等の増減額(△は減少)	△18,756	△34,697
その他	△26,677	71,202
小計	471,736	134,096
利息及び配当金の受取額	907	451
利息の支払額	△3,232	△2,727
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△11,752	△12,454
営業活動によるキャッシュ・フロー	457,659	119,365

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年6月1日 至平成22年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年6月1日 至平成23年11月30日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の払戻による収入	3,030	—
有形固定資産の取得による支出	△230,650	△272,281
無形固定資産の取得による支出	△2,072	△1,901
投資有価証券の取得による支出	△49,996	△56,000
長期貸付けによる支出	—	△24,000
保険積立金の積立による支出	△2,322	△2,327
差入保証金の差入による支出	△400	△15,425
差入保証金の回収による収入	14,248	21,229
その他	600	△484
投資活動によるキャッシュ・フロー	△267,562	△351,190
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△150,000	—
長期借入金の返済による支出	△19,998	△19,998
自己株式の取得による支出	△72	△72
配当金の支払額	△56	△16
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△1,360	△1,433
財務活動によるキャッシュ・フロー	△171,487	△21,520
現金及び現金同等物に係る換算差額	△17	△14
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	18,592	△253,359
現金及び現金同等物の期首残高	1,649,291	1,702,270
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,667,884	1,400,174

(4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第2四半期連結累計期間(自平成22年6月1日至平成22年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	映像制作事業	出版事業	著作権事業	計		
売上高						
(1) 外部顧客への売上高	1,017,540	563,993	311,323	1,892,857	45,105	1,937,962
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	1,017,540	563,993	311,323	1,892,857	45,105	1,937,962
セグメント利益又はセグメント損失(△)	△117,544	△20,917	149,509	11,047	△5,256	5,791

(注)「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、原稿(雑誌のイラスト)や商品販売等を行っています。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	11,047
「その他」の区分の利益	△5,256
のれんの償却額	△13,349
全社費用(注)	△33,650
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△41,208

(注)全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売管理費及び一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成23年6月1日至平成23年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	映像制作事業	出版事業	版權事業	計		
売上高						
(1) 外部顧客への売上高	1,439,323	618,767	229,829	2,287,920	59,973	2,347,894
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	1,439,323	618,767	229,829	2,287,920	59,973	2,347,894
セグメント利益又はセグメント損失(△)	72,142	△178	13,084	85,049	△2,233	82,815

(注)「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、原稿(雑誌のイラスト)や商品販売等を行っています。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	85,049
「その他」の区分の利益	△2,233
のれんの償却額	△13,349
全社費用(注)	△29,180
四半期連結損益計算書の営業利益	40,286

(注)全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売管理費及び一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。